

【概要】 平成 23 年度 フラット 35 利用者調査

I. 調査の概要

フラット35を利用された方の社会的属性、住宅の概要などに関して、金融機関から買取又は付保の申請があった債権で、平成 23 年度中に買取又は付保の承認を行ったもののうち 110,097 件(平成 22 年度は 115,257 件)について集計

II. 調査結果の主なポイント

1 年齢構成に大きな変化はなし

年齢構成に大きな変化はなく全体では 30 歳代の構成比が 22 年度は 51.5%、23 年度は 51.4%といずれも 50%を上回っている。特に土地付注文住宅では 22 年度 58.8%、23 年度は 58.3%といずれも約 60%に達している。〈p1、p3〉

2 1人世帯の構成比が低下（マンション）

1人世帯の構成比は、マンション全体で22年度の21.6%から23年度は16.1%へと低下している。女性のうち30歳未満では43.8%から26.1%と低下が著しい。〈p1、p4、p6〉

3 世帯年収の構成に大きな変化はなし

全体では世帯年収の構成に大きな変化はなく、中心となる世帯年収 400 万円以上 600 万円未満の構成比は 22 年度 40.9%、23 年度は 42.0%といずれも 40%強の水準。ただし、マンションでは、年収 400 万円未満の構成比が 11.4%から 8.9%へと小幅低下した。〈p2、p7〉

4 総返済負担率の構成に大きな変化はなし

全体では総返済負担率の構成に大きな変化はなく、総返済負担率 15%未満の構成比は 22 年度 15.8%、23 年度 15.1%。中古マンションでは 22 年度 29.0%、23 年度 29.6%の水準だった。〈p2、p16〉